

熊本市PTA協議会研究大会結果報告

平成23年11月26日（土）保健科学大学にて

【概要】

◆テーマ 今こそ絆 ～家庭と地域と学校と～

◆参加者数 764人

●全体講演

講師：水野 直樹 氏（人と地域のネットワーククリエイター）

演題：「今こそ『絆』～家庭と地域と学校と～」 764人

●第一分科会

講師：桑崎 剛 氏（熊本市立河内中学校教頭）

演題：「ネット・ケータイ社会における課題と絆」 137人

●第二分科会

講師：松脇 美千江 氏（ベストライフコーチング代表）

演題：「親子の会話に活かすコーチング」 447人

●第三分科会

講師：上妻 妙 氏（NPO法人日本食育協会 上級食育指導師）

演題：「食育はすべての土台～親が変われば子も変わる～」 180人



<全体の風景：上田会長挨拶>



<全体講演 水野直樹氏>



<第一分科会：桑崎氏>



<第二分科会：松脇氏>



<第三分科会：上妻氏>

【アンケート結果】

●全体講演

講師：水野 直樹 氏（人と地域のネットワーククリエイター）

演題：「今こそ『絆』～家庭と地域と学校と～」 324人／764人

★本年は絶対に忘れてはいけない東日本大震災がおき、今テーマである「絆」がいかに大事で、それを親として、人としてどうつなげていくのかを考えるきっかけになりました。「関わることをあきらめない」という言葉、印象深く耳に残りました。参加して良かったです。

★PTA活動をする中で、学校と親と地域の関わり方が一番大きな問題と実感する中で、そのヒントとなる「関わることをあきらめない」ということを教え、気付かせていただき、「自分から動き、人と関わり続けていく」・・・その思いを胸に刻んでこれからのPTA活動を進めていかなければと感じました。

★PTAなど面倒だと思っていましたが、人とつながりがもてることはプラスになることなので、学校、地域の行事にも参加して、もっと絆を深められたらいいと思います。

★地域とのつながりを老後のための自分のフィールドとして考えると、もっと親しく、仲よく！を目標にできそうですね。楽しかったです。

★話しかけるような口調で強弱、笑いがあり、あっという間で、楽しい、ためになる講演でした。時間が足りなくて残念でした。インタビュー形式のお話も聴きたかったです。

★短時間の講演だったので、ポイントがはっきりしてかえってわかりやすくなりよかった。

★自分が人との関わりを減らしていました。人の中に入って顔を覚えられると、それだけ役も増えてしまうからです。でも、やっぱりやってくる出会いは大事にしていこうと思いました。

★今まで「関わる」ということについて考えたことがありませんでした。でも、現代社会にとって一番必要なことだと感じました。もっと町内や学校の活動に積極的に「関わる」ことによって、子どもや私たちの老後のためにもなるのだと感じました。今にピッタリのテーマ、とても参考になりました。これからもすぐ実践できるような、生活に密着したテーマを期待しています。

★今までは、そのことについて「考えていたら」関わっていると考えていたので、もっと家庭でも「関わり方」を変えていこうと思いました。触れ合う＝関わると感じました。

★普段、何気に地域活動に参加していたのですが、なぜ参加しているのか、改めて認識することができました。また、何事にも無関心であることが、現代の社会問題の原因であることも理解できました。今後子どものため、自分のため（老後のため？）地域のため、社会のために、関わることがあれば積極的に関わりと共に、周りの人も巻き込んでいければと思いました。

ように思いました。子ども、家族、自分自身のためにも、今後関わることを恐れず、地域、学校、親同士の関わりを持ちたいと思います。

★水野さんがご自分で普段からかかわっておられる地域（校区）との絆を基本に、そこから広がる多くにわたる絆の大切さ、その絆の温かさを知ることができたと思います。わかりやすい講演だったと思います。

★地域と子どもと親と学校が「かかわる」大切さは、わかっているつもりでしたので、積極的に地域行事やPTA活動に参加しています。しかし、それが今後、“自分の老後”の生活や活動に影響をもたらすということまでは考えていませんでしたので、とても新鮮な気持ちになりました。まわりの人たちにも伝えていきたいと思います。

★絆、今では色々なところで聞かれるが、実際自分がどう行動すべきか具体的にはよくわからない状態でした。かかわる、ということは、日々の生活の中で、家庭、地域、学校の色々な場面で自分から行っていけば、おのずと絆はできてくるという事がわかった。実体験をまじえ、わかりやすくお話していただき、今後たくさんの人と関わる参考にできると思いました。

★今、地域で、小・中・高・地域の住民の方々、みんなで「あいさつ」を通してのふれあいをしようという活動が行われています。学校としてどう関わればよいかがとても参考になりました。

★自分はこれまで、できるだけ関わらないように！という思いが強く、人との間に壁を作っていましたように思います。講演を聞き、改めて関わることの大切さについて知ることができた。

★主人も私も熊本が生まれ故郷ではありません。地域の方々と理解しあえるのか、不安がいっぱいあります。ですが、自分から関わるのが大切だと思いました。親が見本と思って生活していますが、疲れる日もよくあります。ペップトークで子どもを元気にできれば親も元気になれると思います。努力していきたいと思います。

★良いこと、悪いこと、面倒くさいこと、すべてにあきらめず、関わり続けることで、絆がうまれてくる。子どもとの関係のみならず、考えさせられました。

★PTAや地域とつながっていくことが、子どものいざというときの安全につながっていく、ひいては自分たちの住む地域での居住感を高めていくことにつながっていくことが印象に残りました。

★「子育ては親の暮らし方」「大人が動けば子どもも動く」という言葉が胸に残りました。

★まず、できること、「あいさつ」から手を抜かずにやってみます。私たち大人は見られている・・・お手本ですね！なってほしい姿を見せていこうと思います。

★あいさつが一日のはじまりの親子の関わりと聞いて、改めて大切さを認識しました。

★あいさつは、その人の存在を認めること。とても大切なことだと思いました。

★水野さんの子どもさんが小学校に入り、また違う目線で絆、つながりをみつけ、また講演されるのを聞いてみたいです。

★ペップトークのポジティブな声掛けについて聞いて、今度から息子に「ボール球に手を出すな！」とは言わず、「ストレートだけ打て！」と声をかけるようにしようと思います。

★ペップトークというのははじめて聞きましたが、発達障害の子に対する声掛けと似ていますね。

★最後のペップトークは心がけて子どもに話そうと思いました。今まで傷つけたり、自信を無くしたりする言い方をしていたなあと反省しました。

●第一分科会

講師：桑崎 剛 氏（熊本市立河内中学校教頭）

演題：「ネット・ケータイ社会における課題と絆」

43人／137人

★話が具体的でわかりやすく、内容も興味深く聞くことができました。とても参考になりました。イマドキの中・高生のケータイ事情がよくわかり、今後、子どもとの携帯に関する話し合いに、今回教わった知識が活用できると思いました。

★ネット社会における子どもとケータイの関係をどのように考えていくべきか、親はしっかり勉強し、知識を得ることで子どもを守ることができるということをしっかりと認識することができました。

★今後、ケータイを持たせるのかどうか、迷っているところでしたが、ケータイを持つ前が大切で、親の子どもへの関わりかけが大切だということがわかりました。

★子どもがケータイに依存する割合が大きいほど夜遅く寝ることや、親子のふれあいが減少するなど、日常生活にも変化が現れるとよく理解できたし、所持することによって、プラス、マイナスの面は必ず出てくるので親子でネット社会の現状など、きちんと向き合うことが大切だと感じました。使う側がどう受け入れてきちんと活用するのかが、大事なんですね。

★子どもを取り巻く状況がここまで進んでいるとは思わなかった。色々なアンケート結果をみせていただき驚きの連続でした。ネットが一日一日進化していることがわかり、恐ろしくなりました。

★親子のコミュニケーションがフィルタリングになる・・・子どもが自分自身でコントロールできるように、関わりをつくっていきたいです。

★ネット・ケータイ社会は、就活ひとつにおいても必須で逃れられないものだ実感しました。まずは家庭でしっかりルールを作り、指導・把握しなければならない！と思いました。また、恐ろしさばかりを全面に打ち出して与えるのではなく、有益なツールである面も教えていきたいと思いました。

★携帯を安易に与えてしまっていた事を反省しました。使用にあたっての約束を親子でじっくり話し合う時間を作り、スマホに関しては、簡単に持たせないようにします。

★時間がもう少しほしかった。まだくわしく聞きたかった。とてもためになりました。

★ネット社会だからこそ絆が大切だということ。ケータイを持つ前に、子どもが考え判断するように考えて持たせたいと思う。

★ケータイが進化していく中で、子どもにケータイを持たせる時に、親として、どういうことに配慮していけばいいのか、考えさせられました。

★各学校で講演をしてほしいです。多くの人にきいてもらいたい内容でした。

★講師のキャラクターが素晴らしい。お話がとても上手であつという間の分科会でした。

★とてもよかったです。うちは厳しいと子どもから言われますが、これでよいのだと思うことができました。

●第二分科会

講師：松脇 美千江 氏（ベストライフコーチング代表）

演題：「親子の会話に活かすコーチング」 182人／447人

★もう一回聞きたいくらいとても感動しました。自分の息子に対しての言葉に反省…反省！でした。先生のやさしい語り口に吸い込まれるように聞き入りました。子どもが生まれたときには、その子の存在を丸ごと受け入れていたはずなのに、色々な欲が出ていたことにまた反省。子どもの話をしっかり「聴く」そして、自分とは違う我が子の価値観を認めてコントロールしないで応援する親になります！！

★今、思春期や受験生のいる私にとって、まさにドンピシャのテーマのお話でした。自分のいいことばかり、小言をいうばかりでなく、まず、子どもの話を3分「聴き」たいと思います。

★一番知りたかったことをきけたと思い、涙しました。帰ったら実行したいと思います。

★もっと早くこういう話を聞かせていただきたかったと思うくらい、よかった。

★コミュニケーションという領域からの手法や手段ではなく、その土台にある、最も重要な事柄を学んだように感じます。講演中はずっと反省・・・でした。ワークも楽しかったです。体験・体感はよいですね。子どもたちと、これからきちんと向き合います！

★子どもに対して、コントロールしているつもりはなかったが、無意識に誘導尋問していたような気がします。これからは聴くときに心も向けて、子どもを応援していこうと思います。

★子どもとの関わりに悩むことが多いので、具体的な提案、「一日3分子どもの話を聴くこと」このお土産を持って帰ることができて、それだけでも幸せだったと思います。これを実践する度に子どもだけでなく、自分のことも好きになれる気がします。

★今日の話はとても心に残り、今後の私の育児、私の身の周りの人たちとの関わりを見直すきっかけになりました。

★実践編のワークでは、少し恥ずかしかったけど、話を聴いてもらえると気持ちがいいことを実感しました。子どもも、こんな気持ちで話してくれたらいいな、と思い、帰って実践しようと思いました。

★ワークをしてみて、話をきいてもらえないさみしさがわかりました。一日3分、聴きます！

★聴く、ということは相手の存在を尊重する深い行為。今までは子どもの話を「聞く」だけで「聴く」ことはしていなかったと反省しています。

★会話をしないと相手のことはわからない、その中で相手のことを分かるようになる鍵が必ずあるはず。傾聴を大切に心かけたい。

★「聴く」ということは、親子関係だけでなく、児童・生徒と教師の関係にもあてはまります。本校の職員にもコーチングの大切さを伝えていきます。

★去年も先生の話聴いて3分話そうと思ったつもりが・・・一年前と変わっていない自分が情けないです。でも、再確認できて良かったです。

★うちの学校でも講演をお願いします。

●第三分科会

講師：上妻 妙 氏（NPO法人日本食育協会 上級食育指導師）

演題：「食育はすべての土台～親が変われば子も変わる～」99人／180人

★上妻先生のお話、とても楽しく拝聴しました。これからの生き方、考え方が前向きになれるような素晴らしい講演でした。

★上妻先生、本当に最高です！笑いのたえないトーク・・・うちの学校に講演お願いしたいです！食べることの大切さ・・・食べ物の一つ一つの意味、料理も会話も楽しみながら、食卓を囲みたいと感じました。

★こんなに楽しい講演会もあるんだというくらい、でも楽しいだけではなく、食育の大切さを実感しました。素晴らしい講演に参加させていただきました。あらためて、親として、自分を見直さなきゃと思いました。母親として、子ども、家族の心の成長、身体の成長に対する責任。言葉の大切さをかみしめようと思います。

★先生のユーモアあふれる話し方、明るさ、考え方を自分も取り入れたいとおもいました。60分があっという間でした。「食育はすべての土台」まさにそうだと思えました。このお話を他の人にも伝えたい、広げたい気持ちになりました。

★食事のことからはじまり、自分の子どものことを頭に浮かべてお話をきくことができました。私の姿勢、考え方、気の持ち方一つで変わることを感じることができました。最後のパフォーマンスもとてもすごかったです。目の前でみて、気の持ち方、言葉しだいだと思いました。自分が変わることが大事だと、心から思いました。

★食育は”心“を育てるものだと思います。今からでも変わりたいと思いました。

★食べぐせ、口ぐせ、考えぐせは大切だと思います。楽しく暮らすために「あ（あかるく）・た（たのしく）・ま（まえむきに）」を使おう、子どもにも伝えていこうと思いました。

★子どもに与えているおやつを考えた時、SOS（砂糖・油・塩）をとりすぎているなと思いました。少しずつでも変えていこうと思いました。

★おもしろおかしい講演で、会場が盛り上がりました。言葉の使い方によるコミュニケーションの取り方によって食卓を明るくし、会話して、頭をつかった育て方ができることを教えていただいた気がします。テーマを超えた講演を頂けました。

★強く願えば、思いは実現できるというお話、マイナスなことは口にしないということ、とても勉強になりました。

★とにかく話がおもしろかった。しかも、ストレートに頭と心に言葉が入ってきました。「食事の準備、したいからする」このフレーズを色々な場面で言いかえて、ずっと言い続けていこうと思いました。

★先生の話がとても面白く、楽しく、時間があっという間に感じました。とてもためになる話ばかりで、PTA大会資料のメモ欄がいっぱいになりました。色んなことを意識して、親が変わっていこうと思いました。明るく、楽しい家庭を築きあげます！！